

# Management Viewpoint

## マネジメント・EYE『 チームを動かすリーダーの基本 』

ワールドカップ南アフリカ大会の決勝トーナメント一回戦。日本：パラグアイ戦は、延長戦でも決着がつかずPK戦で日本中が涙をのんだ。深夜のテレビ中継を見ながら肩を落とした読者も多いだろう。他の試合では、ドイツ：イングランド戦でゴールを認めなかった判定や、アルゼンチン：メキシコ戦で先制点のオフサイドを見落とした判定があった。審判団の誤審が目立った一回戦であった。

中継を見ながら思わずコメントした人も多いだろう。プロの解説者をはじめ「(全体を俯瞰した視点で)あそこにパスを出せ！」とか「(局部のアップを確認し)審判の判定が違う！」など評価をしている。一方、実際にフィールドで戦っている選手や審判団は、目の前の現象に翻弄されつつも、何とか事実を掴み正しい判断をしようと全力で取り組んでいた。

しかし、重要な事実を見落としてしまい誤った判断をしてしまう場面がいくつか見られた。リーダーともなれば留意しなければならない観点だろう。あなたの職場にも同じようなミスが隠れているのではないだろうか？リーダーが抑えておくべき基本を考えてみよう。

### ＜基本1＞事実を正しく把握すること(現状把握)

ポイントは、現実・現場・現品の三現主義で事実を掴むこと、鳥が空を飛んで全体から餌のありそうな場所を探したり、草むらに下りてきて虫を捕るかの如く、視点の高さをスムーズに調節することである。

### ＜基本2＞共通のモノサシを組織に浸透させること(価値判断基準を明確にし、組織で統一しておくこと)

ポイントは、共通のモノサシを現場が分かる言葉で理解・納得させることだ。組織は、経験や体験が異なる社員が集まったものである。共通の判断軸がなければ同じ方向に進めないのは言うまでもないだろう。

リーダーは、この2つの前提(事実前提と価値前提)を土台に、はじめて正しい判断ができるようになる。逆に、これができなければピント外れの対策を立ててしまうとも言える。

一度あなた自身を振り返ってみよう。部下の報告を鵜呑みにし、自分なりに事実を確認するステップを怠ることはないだろうか。モノサシを浸透させずに毎回異なるその場対応を繰り返し、部下から信頼を失うようなことはないだろうか。

リーダーの基本は、理屈では分かっているが容易に継続実行できるものではない。この重要性を再認識し、さらに良くなるように変化させてほしい。チームを動かすリーダーは、最も基本的な2つの観点を常に心がけ実行している。

## 納得の1枚。知らぬ間に身につく経営の原理原則。

### タナベFAXレポート



業績が低迷していく要因は、景気などの外部環境ではなく、自社の強みが市場とマッチしないために生じるものです。

自社の現状を見極め、将来を見据えた対策の手を打っていくことが大事です。

貴社に毎月3回、FAXでお届けする『タナベFAXレポート』は、時流をとらえ、現在の経営環境の中で実践できる【経営の原理原則】をご提供いたします。

**年会費：6,300円(消費税込)**

配信日：毎月3回(5・15・25日)年間36回配信 / サイズ：B4サイズ1枚/回

※配信日が土日祝日の場合、原則として翌営業日(平日)に配信させていただきます。

※ご入金確認後、配信させていただきます。年会費制ですので、期間途中の返金はいたしかねます。

### お申込欄 FAX:06-7177-4026

### お問合せ

(株)タナベ経営 ネットワーク本部  
TEL :06-7177-4006  
FAX :06-7177-4026

**FAXにてお申込下さい**

お申込者名	ふりがな	部署 お役職	
	〒		
ご住所			
TEL		配信先 FAX	

「個人情報のお取扱いについて」

タナベ経営では、個人情報の保護につとめております。詳細は弊社のプライバシーポリシー(<http://www.tanabekeiei.co.jp/policy/>)をご覧ください。なお、ご記入頂いたお客様の個人情報は、当該会員・セミナー・商品のお申込に関する確認・連絡および経営情報・催物などのご案内をお送りさせていただく際に利用させていただきます。